

事業評価書

補助事業名	王城寺原演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：大和町学校教育用コンピューター等整備事業)					
補助事業者名	大和町長 浅野 元					
実施場所	大和町内					
補助事業の 成果の目標	本事業は、新学習指導要領に対応し、文部科学省が平成22年10月に策定した「教育の情報化に関する手引き」に基づき、平成26年度から小中学校に対する教育用パソコン、周辺機器、ソフトウェア、デジタル教科書等の整備をリース契約で実施している。 また、令和元年度からは経済的優位性を考慮し、パソコン、周辺機器、ソフトウェア等は別事業で購入整備を行い、デジタル教科書のみのリース契約を本事業で実施している。 当該デジタル教科書の使用により、情報教育や授業でのICT活用など、学校における教育の情報化について一層充実を図り、質の高い情報教育を推進することを目標とする。					
補助事業の 内容	H26～30 パソコン、周辺機器、ソフトウェア、デジタル教科書等リース R元～ デジタル教科書リース					
補助事業の 始期及び終	平成25年度から令和10年度まで					
事業費及び 交付金額		H25～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降予定	計
		円	円	円	円	円
	事業費	77,958,511	4,281,984	4,281,984	24,500,000	111,022,479
	交付金額	105,000,000	0	0	0	105,000,000
	基金 造成 額					
	市町村費					
	その他					
	運用益	607,447	6,959	4,754	11,277	630,437
合計	105,607,447	6,959	4,754	11,277	105,630,437	
	基金処分額	77,769,391	4,200,000	4,200,000	19,461,046	105,630,437
	基金残高	27,838,056	23,645,015	19,449,769	0	0
補助事業の 成果及び評 価並びに地 域住民への 周知の実施 状況	【補助事業の成果及び評価】 各学校の使用簿により、デジタル教科書、問題データベース、パソコン教室の利用状況を確認した結果、算数では自由に操作して試行錯誤ができるシミュレーションを使用して図形の理解を深め、理科では豊富な映像資料や実験動画により興味、関心を深める等、日常的に授業で使用していることを確認した。 また、児童生徒及び教員へ、ICT機器及びデジタル教科書等を使用した授業に関してアンケート調査を実施し、結果は以下のとおりであった。 ○児童生徒へのアンケート結果 - デジタル教科書を使った授業はわかりやすいと思いますか 肯定的意見87.6% - 自分の考えを深めることができたと思いますか 肯定的意見85.7% - 自由意見 「デジタル教科書を使うと、普通の教科書でできないことができて教科書よりわかりやすかったです。また、図形など重ねて大きさなどを比べて使えるところが特にわかりやすかったです。」 「関連動画を見ながら授業を受けれるので知識が深まりました。」 ○教員へのアンケート結果 - 児童生徒の興味、関心を高めることに効果的だと思いますか？ 肯定的意見98.8% - 児童生徒に課題を明確に掴ませることに効果的だと思いますか？ 肯定的意見98.8% - 児童生徒に分かりやすく説明したり、思考や理解を深めることに効果的だと思いますか？ 肯定的意見97.7% - 自由意見 「教師が使うことはもちろん、生徒が使うことがとても効果的だと思うので、古い授業スタイルを一度捨てて、デジタル教科書を生かした授業づくりをしていきたい。」 「外国語の授業において指導者用デジタル教科書はほぼ毎時間活用している。」 以上のことから、ICT機器及びデジタル教科書等の有効活用により、質の高い情報教育の推進が図られたと評価する。 【地域住民への周知】 町教育委員会ホームページにより住民に及び、学校だよりにより児童生徒、保護者に対して特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により整備した旨の周知を行った。また、広報紙（10月決算特別号）により住民に同内容の周知を行った。					
事業の改善 措置及び今 後の対応	転入教員及び初任者が有効に活用できるよう、各小・中学校の教職員向けの活用研修会などを実施する。					
事業の評価 に際しての 第三者機関 の活用の有 無	無し					